防災カード公開にあたって

　地域防災対策委員会では、講演会や意見交換会、視察研修、アンケート調査などを通じて、会員と関係者の防災意識の啓発と調査研究を進めてきました。その中で、多くの機関が災害対応マニュアルや防災ハンドブックといったものを作成していることが分かりましたが、それらの多くは、様々な情報を詰め込むため、一人ひとりにとっては必要ない情報まで織り込んだ分厚いものが多いことが分かりました。中には、カード型で携帯できるようにしているものもありましたが、逆に情報量が少なすぎたり、更新されないため古い情報のまま年数がたったりしている、といった問題点があることも分かりました。また、同じ目的で開発されたスマートフォン用防災アプリなどは、豊富な最新の情報を携帯できますが、被災時に電源を失うと何も残らないという問題があります。

　これらのマニュアル類はどれも一長一短があり、結局のところ使う人によって必要な情報は千差万別であるため、それぞれの企業や生活圏にあうようにカスタマイズできるものがあれば便利ではないかという考えに至りました。さらに、カード型であれば、普段から財布や手帳の中などに携帯しておき、いざという時に必要な情報が取り出せると考え、「各自でカスタマイズできる」防災カードにするため、広く普及しているエクセルを利用することにしました。これを愛媛経済同友会のホームページからダウンロードできるようにし、趣旨に賛同頂ける自治体や団体等からリンクを張ったり、各団体でアレンジされたものを公表して貰ったりして広く普及を進めれば、会員企業に限らず多くの人の役に立てると考え、検討を重ねてまいりました。

当初は、巨大地震および津波災害の対応に関する情報のみをまとめたカードを検討していましたが、平成３０年に西日本豪雨災害が発生し、豪雨・土砂災害などの対応に関するカードも入れた形で愛媛経済同友会版「防災カード」フォーマットがほぼ完成しました。ところが、令和２年に入り、新型コロナウィルスの感染拡大という未曾有の災害とも言える状況になり、これに関する情報も急遽追加した形で今回の防災カードが完成しました。

この例も示す通り、今般作成した防災カードは、一度作って配布したら終わりではなく、定期的に情報を更新することで、より実効性の高いカードになり、そのカードを持っている人も、より自分にあったカードに更新していくことができるのが最大の特徴です。また本カードには、自宅や職場の標高、避難場所といった情報も記入するようになっており、それらを各自が調べたり、家族で話しあったりすることで、利用する人々の防災意識が更に高まることも期待できます。

今般、定時総会を機に、当ホームページから一般公開する運びとなりましたので、できるだけ多くの方にエクセルファイルをダウンロードして、自由にアレンジして使って頂きたいと思います。そうすることで、この防災カードを利用する個人・団体の防災力が向上し、ひいては地域全体の防災力向上につながることが我々委員会メンバー全員の願いです。

令和2年5月

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　愛媛経済同友会　地域防災対策委員会